

山口情報芸術センター [YCAM] オペラ／舞台公演

渋谷慶一郎＋岡田利規 新作オペラ公演「THE END」

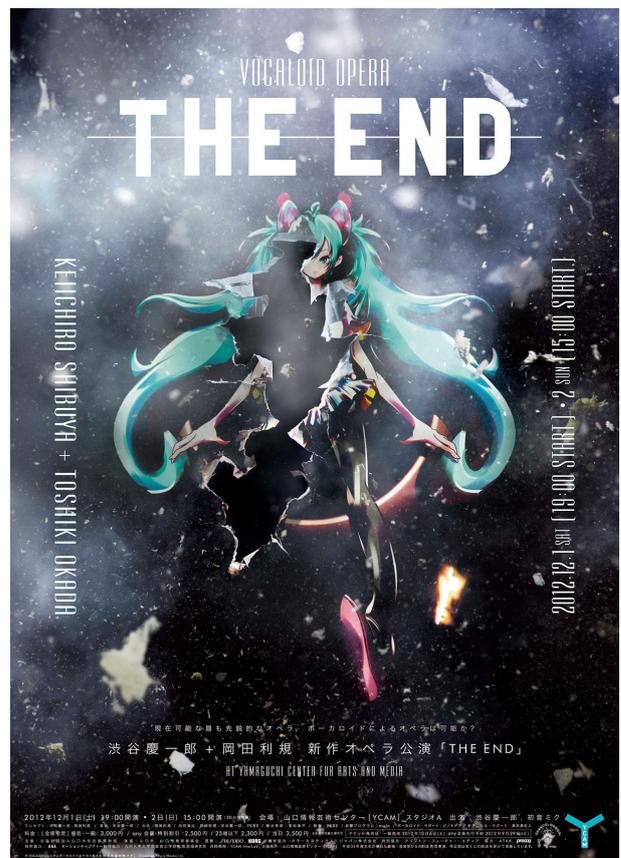
2012年12月1日(土) 19:00開演、2日(日) 15:00開演

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

## 現在可能な最も先鋭的なオペラ ボーカロイドによるオペラは可能か？

常に注目すべき活動を繰り広げている、音楽家/アーティストの渋谷慶一郎と、演出家/劇作家/小説家の岡田利規。1973年生まれという世代を共有する彼らが、「終わり」をテーマに初のコラボレーションを発表します。「THE END」は、初音ミクによるオペラ。悲劇的ストーリーやアリア、レチタティーボといった従来のオペラが持っていた形式はそのままに、人間の歌手もオーケストラも登場しないボーカロイド・オペラという初の試みです。ステージの四面を覆うマルチ画面映像と照明、マルチチャンネル音響を駆使した、YCAMのプロデュース/滞在制作による最新作。オペラが結びつけられてきたヨーロッパ的人間中心主義と、生と死/パブリックとプライベート/部分と全体/線と層といった対立項の解体が試みられ、終わりとはなにか？死とはなにか？が問いかけられます。

自らの運命を予感したミクが、自分の劣化コピーや他のキャラクターとの対話を通じて終わりを探す旅が始まります。無限の谷へ繋がる部屋で展開する悲劇のバリエーション。ミクは果たして死ぬのか？



YKBXによる描きおろしイラストを吉田ユニがデザイン／アートディレクションした、爆発する初音ミクのキービジュアル

参加アーティストに、映像/キャラクターデザイン/共同演出として、ミュージックビデオなど独自の映像世界で注目を集める映像作家のYKBX (a.k.a Masaki Yokobe)。舞台美術に、建築集団OMAニューヨーク代表であり、カニエ・ウエストやマリナ・アブラモビッチとの共同制作で知られる建築家の重松象平。劇場を包み込むサウンドプログラムは、サウンドアートの最前線を担うevala。ボーカロイド・プログラミングには、個性的なメロディと歌詞で人気のピノキオP。数多くのVJシーンで活躍する筒井真佐人がプログラマーで参加。YKBXが描きおろしたイラストを、吉田ユニのアートディレクションのもと、鈴木心が撮影した、爆発する初音ミクのキービジュアルも公開されました。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: press@ycam.jp  
この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 公演クレジット

コンセプト：渋谷慶一郎、岡田利規  
 音楽：渋谷慶一郎  
 台本：岡田利規  
 共同演出：岡田利規、渋谷慶一郎、YKBX  
 出演：渋谷慶一郎、初音ミク  
 舞台美術：重松象平  
 映像：YKBX  
 音響プログラム：evala  
 ボーカロイド・プログラム：ピノキオP  
 テクニカル・サポート：筒井真佐人  
 プロデューサー：東市篤憲(A4A)  
 技術監督：伊藤隆之(YCAM InterLab)  
 舞台監督：尾崎聡  
 キュレーター：阿部一直(YCAM)  
 特別協力：クリプトン・フューチャー・メディア  
 協力：ATAK、precog  
 制作協力：A4A  
 共同開発：YCAM InterLab  
 企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]  
 モーションキャプチャー制作協力：九州大学大学院芸術工学研究院  
 源田研究室 松永康祐  
 モーションキャプチャーモデル協力：安藤真理  
  
 宣伝物制作  
 アートディレクション：吉田ユニ  
 撮影：鈴木心

## プロフィール情報

### 渋谷慶一郎

音楽家。1973年生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。2002年に音楽レーベルATAKを設立、国内外の先鋭的な電子音響作品をCDリリース。代表作に『ATAK000+』、『ATAK010 filmachine phonics』、『ATAK015 for maria』など。2010年には『アワーミュージック 相対性理論+渋谷慶一郎』を発表。多数の映画音楽を担当する一方、国内外でマルチチャンネルによるサウンドインスタレーションを発表、コンサートを行うなど多彩な活動を展開している。

<http://atak.jp/>

photo: 新津保建秀



## 関連イベント

11月24日(土) 15:00 - 16:30 ワークショップ  
 講師：渋谷慶一郎、岡田利規  
 会場：山口情報芸術センター[YCAM] ホワイエ  
 対象：一般(高校生以上) 定員：50名 参加無料  
 ※要申込、申込受付中(先着順)  
 アーティストが、制作中の作品の発想やアプローチについてのプレゼンテーションを行い、テーマについて参加者とのディスカッションを実施します。

申込方法：FAX または e-mailにて、下記項目をご記入の上、お申し込みください。

1. 名前(ふりがな) 2. 性別 3. 生年月日 4. 郵便番号/住所  
 5. 電話番号、FAX番号等連絡先  
 応募先：山口情報芸術センター[YCAM]  
 FAX: 083-901-2216 e-mail: workshop@ycam.jp

## 関連展示「Making of 『THE END』」

会期：11月10日(土)～1月7日(月) 10:00～19:00  
 会場：山口情報芸術センター[YCAM] / ホワイエ 入場無料  
 映像作家YKBXと建築家重松象平による、オペラ「THE END」のメイキング展示です。YKBXが「THE END」の映像制作過程で描いた初音ミクのドローイングや絵コンテと、重松象平による舞台美術プランの資料を公開します。  
 展示構成監修：重松象平

### 岡田利規

演劇作家/小説家/チェルフィッチュ主宰。1973年生まれ。1977年に『チェルフィッチュ』を横浜で結成。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の五日間』で第49回岸田戯曲賞を受賞。デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』が2008年、第2回大江健三郎賞受賞。2012年4月、最新作『現在地』を発表。

<http://chelfitsch.net>

photo: Nobutaka Sato



## プロフィール情報

## YKBOX a.k.a Masaki Yokobe

映像作家。各種映像作品のディレクションや制作に加え、イラストレーションやグラフィックデザインなどを手掛ける。トータルアートディレクションを目指した作品を数々制作し、国内外の映画祭やイベントで高く評価される。人気ロックバンドamazarashiのミュージックビデオ『夏を待っていました』が、2010年度文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門にて優秀賞を受賞。フリーランスで海外での仕事、大型イベントの映像ディレクション、各種ゲームのビッグタイトルのアートディレクションを手掛けている。

<http://yokobox.com/>

## evala

サウンドアーティスト。port主宰、ATAK所属。先鋭的な電子音楽作品を発表し、国内外でのパフォーマンスや、美術館でのインスタレーションをおこなう。また立体音響システムや先端テクノロジーを用いた実空間へのサウンドデザインや舞台音楽、広告メディアへの楽曲/音楽プロデュースなど、音を主軸にその活動は多岐にわたる。2011年から渋谷慶一郎氏とラップトップ・デュオ"ATAK Dance Hall"も始動。山口情報芸術センター[YCAM]やNTTインターコミュニケーション・センター(ICC)においてはマルチチャンネルのサウンドインスタレーションを発表するほか、日本科学未来館/企画展のサウンドデザインなども手がける。

<http://port-label.jp> <http://evala.jp>

## 開催概要

## 渋谷慶一郎+岡田利規 新作オペラ公演「THE END」

2012年12月1日(土) 19:00- / 12月2日(日) 15:00- (30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

料金：[全席指定] ※未就学児童入場不可

前売 一般 3,000円 / any 会員・特別割引 2,500円 / 25歳以下 2,300円

当日 3,500円

チケット発売日：9/29(土) any 会員先行予約 10/6(土) 一般発売

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

(YCAM内 / 10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：<http://www.ycfc.or.jp/>

(24時間受付※要事前登録)

セブンイレブン店頭：セブンコード 019-530

## ■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：11月24日(土)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム 事前にお問い合わせください。

## 重松象平

建築家。1973年福岡県生まれ。設計事務所OMAのパートナー、NY事務所代表。主な作品はCCTV(中国中央電視台)新社屋、深圳証券取引所本社屋、ブラダ巡回展『ウェイスト・ダウン』、コーネル大学建築芸術学部新校舎、ケベック国立美術館新館など。マリナ・アブラモビッチの新しいパフォーマンススペースや、蔡國強のNYスタジオ兼アトリエなど、アーティストとのコラボレーションも進行中。現在、ハーバード大学デザイン学部大学院、コロンビア大学建築都市計画歴史保存学部大学院の非常勤講師。

## ピノキオP

コンポーザー。2009年2月23日に投稿した『ハナウタ』が処女作。以降も精力的にオリジナル曲を投稿しつつ、コラボレーションや生放送においても積極的に活動している。作曲活動のみならず、動画内のイラストも手掛ける多才な人物である。使用しているボーカロイドは初音ミクと鏡音リン。2012年7月4日、メジャーファーストアルバム『Obscure Questions』がEXIT TUNESより発売される。

## 筒井真佐人

VJ、プログラマー。テクノロジーの恩恵を最大限に利用する先駆的なアプローチで、映像表現が不変とするものの良さを追求。これまでにVJとして「METAMORPHOSE」、「SonarSound Tokyo」、「electraglide」、「FUJI ROCK FESTIVAL」、「BIG BEACH FESTIVAL」などのフェスティバルに出演。広告を主とした空間演出の分野においてリアルタイム&インタラクティブ映像のシステム開発もおこなっている。

<http://adsr.jp>

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

協賛：株式会社資生堂、株式会社コルグ

機材協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社

特別協力：クリプトン・フューチャー・メディア

協力：ATAK、precog

制作協力：A4A

モーショングラフィック制作協力：九州大学大学院

芸術工学研究院源田研究室

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

本公演は宝くじの助成を受けて実施しています。

©Crypton Future Media Inc.

※VOCALOIDならびにボーカロイドはヤマハ株式会社登録商標です。